

いつの時代も美しい姿態と謎めいた表情で多くの芸術家のミューズとなってきた猫。そんな猫に魅せられた新旧のアーティストたちの作品が文化財「百段階段」に集結します。日本最古の飼い猫記録が残る平安時代からは「枕草子」や「源氏物語」より猫の登場場面を立体化した作品、江戸時代の猫の浮世絵コレクション、日本初の猫コレクターであり大正・昭和の猫プロダクトデザイナーの河村 目呂二の貴重なコレクションによる大正ロマンあふれる猫の世界など、時を超えて人を惹きつけ続ける猫の魅力を7部屋でご堪能ください。



石渡 いくよ



みどころ

文化財とねこのコラボレーション

奈良時代に中国から伝わったとされる猫。平安時代、宮廷の貴族たちに愛でられた希少な動物は、江戸の頃、庶民の身近な存在となりました。文化財「百段階段」の7部屋と、時代ごとの猫のコラボレーションをお愉しみください。



小澤 康磨／過去展示の様子



歌川国芳「流行猫じやらし」／江戸時代

前期展示（3月20日～5月6日）

貴重な歴史資料と日本を代表するねこ作家の作品が集結

猫好きとして知られる歌川国芳の浮世絵や創作招き猫の先駆者・河村 目呂二の大正時代の招き猫などの貴重なコレクションから独創性と技量に富んだ現代作家の作品までバラエティに豊かに集います。

ミュージアムショップにはねこグッズも

人気アーティストの一点もの作品からお手頃なアートグッズ、猫をあしらったステーショナリーや小物など、猫好きな方へのお土産にもおすすめです。

十畳の間

河村 目呂二× 大正ロマン、昭和モダンねこ

河村 目呂二是大正後期から昭和初期にかけて活躍した彫刻家・文筆家で、創作猫アーティストにして元祖招き猫蒐集家、デザイナーなどさまざまな顔を持ちます。目呂二の猫の作品・猫コレクションを通して大正ロマン、昭和モダンの世界をご体感ください。



河村 目呂二写真／1922（大正11）年頃



マネーキー／1924（大正13）年



縁福猫／1933（昭和8）年頃

星光の間

粹、洒落、人情×江戸の浮世絵ねこ

心の自由を猫で表現した江戸時代を、粹で洒脱な浮世絵と人形でたどります。

▶猫の浮世絵・おもちゃ絵コレクション（則武コレクション）

▶石渡 いくよ「浮世猫の世界」

吉原花魁道中、春のお花見やひな祭り、若武者や火消しの勇姿、子どもの健康を願う七五三詣りなど、伝統的な日本の風習をねこの江戸縮緬古製人形で創り出しています。

※浮世絵作品は会期中一部展示替がございます。

漁樵の間

小澤 康磨×平安文学のねこ

絢爛豪華な漁樵の間に展開する王朝文学の猫たち。紫式部「源氏物語」からは御簾を巻き上げ禁断の恋のきっかけを作った猫、「今昔物語」で「猫怖じの大夫」を懲らしめた猫部屋の再現など、リアルな猫を追求するアーティスト・小澤 康磨が挑みます。



宇多天皇の黒猫



展示紹介

清方の間

昭和レトロ世界×昭和懐かしこ

初めてなのに、懐かしい。誰もがホッとし童心に帰る昭和レトロ世界をほのぼのの猫で表現します。

▶目羅 健嗣「キネマメラノ座」

懐かしのあの洋画、この邦画、昭和の超大作映画の看板美術が大集合します。

▶有田 ひろみ・ちゃば「昭和ほのぼの商店街」

書店、ラーメン屋、精肉店、鮮魚店、青果店、ケーキ屋、電器店、銭湯、なんでもご近所で揃った昭和の商店街。買い物カゴを提げた猫の親子（ぬいぐるみ）と一緒にお買物気分を味わえます。



石渡 いくよ



歌川国芳「五拾三次之内 岡崎の場」／江戸時代
前期展示（3月20日～5月6日）

草丘の間

福(29)アーティスト×令和の福ねこ

「日本招き猫大賞」受賞作家を中心とした人気作家29人による創作招き猫を展示します。素材や技法の豊かさ、巧みさに唸らされる、令和の時代にふさわしい福を招いてくれます。

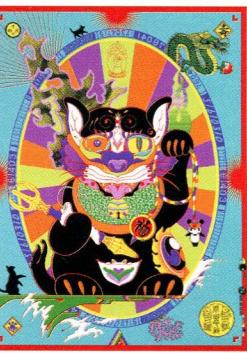


マッチラベル（加藤豊コレクション）

静水の間

ナカムラジン×時を旅する吉祥ねこ

古くて、新しい。新しくて、古い。時代を往来する猫アートの世界は、日本の伝統的な吉祥アイコンと現代のコミックセンスが絶妙にミックスされています。



頂上の間

よねやまりゅう×未来へ旅立つねこ

時を旅していよいよ頂上へ、ジェンダーレス、ボーダーレス、エイジレス…混沌の時代、未来へ向かう気づきは猫の中にあるのかも知れない。未来の「福ねこ」を体験してください。

▶よねやまりゅう「よねやまりゅうの宇宙」

2019年度「日本招き猫大賞」受賞作家が壮大なスケールで猫、神、人を表現した作品です。